

令和元年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」 の概要について（資料）



令和2年10月23日
千葉県教育庁教育振興部
児童生徒課
043-223-4054

本調査は、児童生徒の生徒指導上の諸課題の現状を把握し、今後の施策の推進を目的に毎年実施されている文部科学省所管の統計調査です。

本概要は、暴力行為、いじめ、長期欠席、公立高等学校の中途退学、自殺に関する令和元年度調査の本県分（千葉市を含む公立学校）を取りまとめたものです。

■ 主な調査結果の前年度比較

項目	令和元年度	平成30年度	増減
暴力行為の発生件数	5,123件	4,372件	751件増加
いじめの認知件数	52,067件	39,482件	12,585件増加
小・中・義務教育学校不登校児童・生徒数	7,501人	7,116人	385人増加
高等学校不登校生徒数	2,381人	2,655人	274人減少
中途退学者数	972人	1,353人	381人減少

1 調査項目及び対象

(1) 暴力行為

県内全公立小・中・義務教育・高等学校

(2) いじめ

県内全公立小・中・義務教育・高等学校及び特別支援学校

(3) 小学校及び中学校における長期欠席の状況等

県内全公立小・中・義務教育学校

(4) 高等学校における長期欠席の状況等

県内全公立高等学校

(5) 高等学校における中途退学者数等の状況

県内全公立高等学校

(6) 自殺

県内全公立小・中・義務教育・高等学校

※義務教育学校においては、前期課程は小学校に、後期課程は中学校に計上

2 調査対象期間

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの1年間

3 調査結果の概要

(1) 小・中・高等学校における暴力行為の発生件数は5, 123件で、前年度の4, 372件より751件増加。

ア 校種別発生件数

小学校における発生件数は3, 378件で、前年度の2, 561件より817件増加している。

中学校における発生件数は1, 526件で、前年度の1, 577件より51件減少している。

高等学校における発生件数は219件で、前年度の234件より15件減少している。

イ 形態別発生件数

(ア) 対教師暴力

小学校における発生件数は407件で、前年度の230件より177件増加している。中学校における発生件数は101件で、前年度の88件より13件増加している。高等学校における発生件数は9件で、前年度の13件より4件減少している。

(イ) 生徒間暴力

小学校における発生件数は2, 767件で、前年度の2, 103件より664件増加している。中学校における発生件数は993件で、前年度の1, 064件より71件減少している。高等学校における発生件数は146件で、前年度の144件より2件増加している。

(ウ) 対人暴力

小学校における発生件数は26件で、前年度の22件より4件増加している。中学校における発生件数は57件で、前年度の47件より10件増加している。高等学校における発生件数は8件で、前年度の13件より5件減少している。

(エ) 器物損壊

小学校における発生件数は178件で、前年度の206件より28件減少している。中学校における発生件数は375件で、前年度の378件より3件減少している。高等学校における発生件数は56件で、前年度の64件より8件減少している。

(2) 小・中・高等学校・特別支援学校におけるいじめの認知件数は52, 067件で、前年度の39, 482件より12, 585件増加。

ア 校種別認知件数

(ア) 小学校における認知件数は42, 775件で、前年度の31, 641件より11, 134件増加している。

(イ) 中学校における認知件数は7, 994件で、前年度の6, 898件より1, 096件増加している。

(ウ) 高等学校における認知件数は956件で、前年度の763件より193件増加している。

(エ) 特別支援学校における認知件数は342件で、前年度の180件より162件増加している。

イ いじめの現在の状況

いじめの現在の状況（令和2年3月31日現在）としては、「解消しているもの」が42,351件で、全認知件数の81.3%、「解消に向けて取組中」が9,678件で18.6%、「その他」が38件で0.1%である。

ウ いじめの発見のきっかけ

(ア) 小学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など(69.2%)、②本人からの訴え(13.0%)、③学級担任が発見(10.1%)である。

(イ) 中学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など(54.3%)、②本人からの訴え(20.2%)、③学級担任が発見(9.6%)である。

(ウ) 高等学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など(61.2%)、②本人からの訴え(18.1%)、③生徒(本人を除く)からの情報(8.1%)である。

(エ) 特別支援学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など(56.4%)、②学級担任が発見(29.2%)、③本人からの訴え(6.1%)である。

エ いじめられた児童生徒の相談の状況

(ア) 小学校の児童の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談(84.7%)、②保護者や家族等に相談(15.5%)、③友人に相談(6.2%)である。

(イ) 中学校の生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談(81.1%)、②保護者や家族等に相談(19.9%)、③学級担任以外の教職員に相談(14.1%)である。

(ウ) 高等学校の生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談(69.0%)、②学級担任以外の教職員に相談(27.5%)、③養護教諭に相談(17.8%)である。

(エ) 特別支援学校の児童生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談(85.7%)、②学級担任以外の教職員に相談(9.6%)、③保護者や家族等に相談(4.4%)である。

オ いじめの態様

(ア) 小学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしたりからかい、悪口等(57.2%)、②軽くぶつかられる、たたかれる等(26.5%)、③仲間はずれ、集団による無視(16.3%)である。

(イ) 中学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしたりからかい、悪口等(63.0%)、②軽くぶつかられる、たたかれる等(15.7%)、③仲間はずれ、集団による無視(15.1%)である。

(ウ) 高等学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしたりからかい、悪口等(55.2%)、②パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる(26.3%)、③仲間はずれ、集団による無視(14.7%)である。

(エ) 特別支援学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしたりからかい、悪口等(54.7%)、②軽くぶつかられる、たたかれる等(19.3%)、③嫌なことや恥ずかしいことをされる(6.1%)である。

[※その他(8.5%)を除いた順位]

(3) 小学校における長期欠席児童数は4,708人で、全児童に対する割合は1.52%である。長期欠席児童の中で不登校を理由としている児童数は2,352人で、前年度の2,016人より336人増加し、全児童に対する割合は0.76%で0.11ポイント増加。

中学校における長期欠席生徒数は7,254人で、全生徒に対する割合は4.93%である。長期欠席生徒の中で不登校を理由としている生徒数は5,149人で、前年度の5,100人より49人増加し、全生徒に対する割合は3.50%で0.06ポイント増加。

※不登校児童生徒数（令和元年度に通算して30日以上欠席した児童生徒のうち「不登校」を理由とする児童生徒数）

ア 長期欠席者の状況

(ア) 小学校の長期欠席者4,708人のうち、「病気」は1,467人で長期欠席者全体に占める割合は31.2%、「経済的理由」は0人、「不登校」は2,352人で長期欠席者全体に占める割合は50.0%、「その他」は889人で長期欠席者全体に占める割合は18.9%である。

(イ) 中学校の長期欠席者7,254人のうち、「病気」は1,677人で長期欠席者全体に占める割合は23.1%、「経済的理由」は1人で長期欠席者全体に占める割合は0.01%、「不登校」は5,149人で、長期欠席者全体に占める割合は71.0%、「その他」は427人で長期欠席者全体に占める割合は5.9%である。

イ 不登校の要因

(ア) 小学校の児童の不登校の要因のうち上位3つは、①無気力、不安（46.0%）、②親子の関わり方（13.3%）、③いじめを除く友人関係をめぐる問題（10.9%）である。なお「いじめ」は0.3%である。

(イ) 中学校の生徒の不登校の要因のうち上位3つは、①無気力、不安（40.7%）、②いじめを除く友人関係をめぐる問題（20.0%）、③生活リズムの乱れ、あそび、非行（9.2%）である。なお「いじめ」は0.3%である。

ウ 不登校児童生徒の欠席の状況

(ア) 小学校の不登校児童で「うち、90日以上欠席している者」の割合は44.4%、「うち、出席日数が10日以下の者」の割合は8.8%、「うち、出席日数が0日の者」の割合は3.4%である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「うち、90日以上欠席している者」の割合は61.3%、「うち、出席日数が10日以下の者」の割合は13.9%、「うち、出席日数が0日の者」の割合は4.8%である。

エ 不登校児童生徒への指導結果状況

(ア) 小学校の不登校児童で「指導の結果登校する又はできるようになった児童」の割合は、16.6%である。

不登校児童のうち、指導により「継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童」の割合は、25.6%である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」の割合は、21.0%である。

不登校生徒のうち、指導により「継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒」の割合は、25.0%である。

オ 不登校児童生徒が相談・指導等を受けた学校内外の機関等

(ア) 小学校の不登校児童で「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位3つは、①スクールカウンセラー，相談員等（32.0%），②養護教諭（18.1%），③教育委員会所管の機関（教育支援センターを除く）（16.0%）である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位3つは、①スクールカウンセラー，相談員等（28.5%），②養護教諭（14.9%），③教育支援センター（10.7%）である。

(4) 高等学校における長期欠席生徒数は2,916人で、全生徒に対する割合は2.91%である。長期欠席生徒の中で不登校を理由としている生徒数は2,381人で、前年度の2,655人より274人減少し、全生徒に対する割合は2.37%で前年度より0.22ポイント減少。

ア 長期欠席者の状況

(ア) 長期欠席者2,916人のうち、「病気」は369人で長期欠席者全体に占める割合は12.7%、「経済的理由」は25人で長期欠席者全体に占める割合は0.9%、「不登校」は2,381人で長期欠席者全体に占める割合は81.7%、「その他」は141人で長期欠席者全体に占める割合は4.8%である。

(イ) 長期欠席者で「不登校」を理由としている生徒のうち、全日制の生徒数は1,614人で、全日制生徒全体に対する割合は1.7%、定時制の生徒数は767人で、定時制生徒全体に対する割合は28.9%である。

イ 不登校の要因

(ア) 全日制の生徒の不登校の要因のうち上位3つは、①無気力，不安（38.7%），②生活リズムの乱れ，あそび，非行（22.0%），③いじめを除く友人関係をめぐり問題（12.0%）である。なお「いじめ」は0.4%である。

(イ) 定時制の生徒の不登校の要因のうち上位3つは、①無気力，不安（48.1%），②生活リズムの乱れ，あそび，非行（22.0%），③いじめを除く友人関係をめぐり問題（9.4%）である。なお「いじめ」は0件である。

ウ 不登校生徒の欠席の状況

高等学校の不登校生徒で「うち、90日以上欠席している者」の割合は11.8%、「うち、出席日数が10日以下の者」の割合は2.0%、「うち、出席日数が0日の者」の割合は0.8%である。

エ 不登校生徒への指導結果状況

高等学校の不登校生徒で「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」の割合は、全日制で48.1%、定時制で44.2%である。

不登校の生徒のうち、指導により、「継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒」の割合は、全日制で10.1%、定時制で10.2%である。

オ 不登校生徒が相談・指導等を受けた学校内外の機関等

不登校生徒が「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位3つは、①養護教諭（20.6%），②スクールカウンセラー，相談員等（20.2%），③病院・診療所（8.3%）である。

(5) 公立高等学校の中途退学者数は972人で、前年度の1,353人より381人減少し、年度当初の在籍者数に占める割合は0.96%であり、前年度の1.31%より0.35ポイント減少。

(※平成31年4月1日の在籍者数101,159人を基準とする中途退学率)

課程別に見ると、全日制が778人で、前年度の1,054人より276人減少し、定時制は179人で、前年度の262人より83人減少。通信制は15人で、前年度の37人より22人減少。

ア 課程別の中途退学率は、全日制が0.80%で前年度の1.06%より0.26ポイント減少している。定時制は6.72%で前年度の9.54%より2.82ポイント減少している。通信制は1.73%で前年度の3.54%より1.81ポイント減少している。

イ 全日制の学年別中途退学率は、第1学年では1.28%、第2学年では1.02%、第3学年では0.43%である。また、単位制では0.37%である。

ウ 全中途退学者数に占める割合は、全日制において第1学年では33.6%、第2学年では27.3%、第3学年では11.5%、単位制では7.6%である。また、定時制は18.4%、通信制は1.5%である。

エ 中途退学の理由の上位3つは、①学校生活・学業不適應(52.5%)、②進路変更(25.3%)、③学業不振(8.4%)である。

(ア)「学校生活・学業不適應」の内訳としての上位3つは、①もともと高校生活に熱意がない(41.6%)、②人間関係がうまく保てない(20.8%)、③授業に興味湧かない(14.5%)である。

(イ)「進路変更」の内訳としての上位3つは、①別の高校への入学を希望(52.4%)、②就職を希望(26.8%)、③高卒程度認定試験受験を希望(8.9%)である。

(6) 小・中・高等学校における自殺者数は13人(小1人、中3人、高9人)。

千葉県公立学校の問題行動・不登校等の諸課題の概要

1 暴力行為

校種別 形態・年度	小学校(件)		中学校(件)		高等学校(件)		合計(件)			増減	
	学校内	学校外	学校内	学校外	学校内	学校外	学校内	学校外	計		
対教師 暴力	21年度	64	0	183	0	14	0	261	0	261	
	22年度	75	2	271	0	30	0	376	2	378	117
	23年度	83	0	244	14	21	0	348	14	362	△ 16
	24年度	80	0	211	1	20	0	311	1	312	△ 50
	25年度	98	0	271	2	14	0	383	2	385	73
	26年度	225	0	235	3	17	0	477	3	480	95
	27年度	145	0	154	1	12	0	311	1	312	△ 168
	28年度	127	0	257	0	7	0	391	0	391	79
	29年度	358	0	151	0	12	0	521	0	521	130
	30年度	230	0	88	0	13	0	331	0	331	△ 190
	元年度	407	0	101	0	9	0	517	0	517	186
生徒間 暴力	21年度	278	15	1,006	137	177	20	1,461	172	1,633	
	22年度	317	8	1,063	144	179	29	1,559	181	1,740	107
	23年度	317	24	1,088	128	154	23	1,559	175	1,734	△ 6
	24年度	353	23	1,048	148	152	22	1,553	193	1,746	12
	25年度	535	33	1,212	138	123	21	1,870	192	2,062	316
	26年度	668	20	1,210	123	139	12	2,017	155	2,172	110
	27年度	1,077	54	1,102	62	143	9	2,322	125	2,447	275
	28年度	1,238	47	1,148	42	103	16	2,489	105	2,594	147
	29年度	1,801	81	936	40	111	12	2,848	133	2,981	387
	30年度	2,030	73	1,017	47	136	8	3,183	128	3,311	330
	元年度	2,678	89	965	28	132	14	3,775	131	3,906	595
対人 暴力	21年度	11	1	23	74	0	15	34	90	124	
	22年度	7	3	14	56	0	18	21	77	98	△ 26
	23年度	15	2	9	48	0	17	24	67	91	△ 7
	24年度	2	2	8	65	0	8	10	75	85	△ 6
	25年度	19	2	44	66	3	13	66	81	147	62
	26年度	7	8	12	41	1	3	20	52	72	△ 75
	27年度	19	5	37	18	6	1	62	24	86	14
	28年度	9	2	38	38	3	7	50	47	97	11
	29年度	16	2	27	27	2	8	45	37	82	△ 15
	30年度	17	5	19	28	9	4	45	37	82	0
	元年度	17	9	38	19	0	8	55	36	91	9
器物 損壊	21年度	86	—	821	—	57	—	964	—	964	
	22年度	109	—	801	—	54	—	964	—	964	0
	23年度	98	—	714	—	84	—	896	—	896	△ 68
	24年度	86	—	575	—	83	—	744	—	744	△ 152
	25年度	101	—	673	—	63	—	837	—	837	93
	26年度	134	—	661	—	38	—	833	—	833	△ 4
	27年度	143	—	487	—	43	—	673	—	673	△ 160
	28年度	116	—	495	—	43	—	654	—	654	△ 19
	29年度	197	—	520	—	45	—	762	—	762	108
	30年度	206	—	378	—	64	—	648	—	648	△ 114
	元年度	178	—	375	—	56	—	609	—	609	△ 39
合計	21年度	439	16	2,033	211	248	35	2,720	262	2,982	
	22年度	508	13	2,149	200	263	47	2,920	260	3,180	198
	23年度	513	26	2,055	190	259	40	2,827	256	3,083	△ 97
	24年度	521	25	1,842	214	255	30	2,618	269	2,887	△ 196
	25年度	753	35	2,200	206	203	34	3,156	275	3,431	544
	26年度	1,034	28	2,118	167	195	15	3,347	210	3,557	126
	27年度	1,384	59	1,780	81	204	10	3,368	150	3,518	△ 39
	28年度	1,490	49	1,938	80	156	23	3,584	152	3,736	218
	29年度	2,372	83	1,634	67	170	20	4,176	170	4,346	610
	30年度	2,483	78	1,502	75	222	12	4,207	165	4,372	26
	元年度	3,280	98	1,479	47	197	22	4,956	167	5,123	751

2 いじめ

年度	小学校 (件)	中学校 (件)	高等 学校(件)	特別支援 学校(件)	合計(件)	増減
21年度	3,570	2,997	93	14	6,674	
22年度	4,239	3,931	158	7	8,335	1,661
23年度	3,672	3,556	138	12	7,378	△ 957
24年度	14,175	5,916	565	31	20,687	13,309
25年度	13,884	6,162	132	9	20,187	△ 500
26年度	19,410	6,180	197	24	25,811	5,624
27年度	22,537	6,499	213	127	29,376	3,565
28年度	24,876	6,376	253	112	31,617	2,241
29年度	28,951	6,267	448	167	35,833	4,216
30年度	31,641	6,898	763	180	39,482	3,649
元年度	42,775	7,994	956	342	52,067	12,585

3 不登校

年度	小学校		中学校		合計(人)	増減	高等学校		増減
	不登校児童数(人)	不登校率(%)	不登校生徒数(人)	不登校率(%)			不登校生徒数(人)	不登校率(%)	
21年度	852	0.26%	4,247	2.77%	5,099		2,376	2.39%	
22年度	871	0.26%	4,182	2.74%	5,053	△ 46	2,506	2.47%	130
23年度	898	0.27%	3,879	2.51%	4,777	△ 276	3,017	2.93%	511
24年度	856	0.26%	3,734	2.42%	4,590	△ 187	2,890	2.77%	△ 127
25年度	1,086	0.34%	3,884	2.51%	4,970	380	2,845	2.75%	△ 45
26年度	1,158	0.36%	3,963	2.56%	5,121	151	2,939	2.82%	94
27年度	1,233	0.39%	4,160	2.69%	5,393	272	2,604	2.51%	△ 335
28年度	1,456	0.46%	4,191	2.73%	5,647	254	2,658	2.55%	54
29年度	1,606	0.51%	4,637	3.06%	6,243	596	2,616	2.53%	△ 42
30年度	2,016	0.65%	5,100	3.44%	7,116	873	2,655	2.59%	39
元年度	2,352	0.76%	5,149	3.50%	7,501	385	2,381	2.37%	△274

4 高等学校の長期欠席状況等

年度	生徒数(人)	長期欠席者			増減	長欠率(%)
		不登校(人)	病気・経済的・その他(人)	合計		
21年度	99,497	2,376	1,238	3,614		3.63%
22年度	101,647	2,506	1,178	3,684	70	3.62%
23年度	102,897	3,017	877	3,894	210	3.78%
24年度	104,388	2,890	922	3,812	△ 82	3.65%
25年度	103,495	2,845	828	3,673	△ 139	3.55%
26年度	104,268	2,939	737	3,676	3	3.53%
27年度	103,808	2,604	845	3,449	△ 227	3.32%
28年度	104,045	2,658	921	3,579	130	3.44%
29年度	103,490	2,616	633	3,249	△ 330	3.14%
30年度	102,396	2,655	645	3,300	51	3.22%
元年度	100,255	2,381	535	2,916	△ 384	2.91%

5 高等学校の中途退学者

年度	中退率(%)	全日制(人)	定時制(人)	通信制(人)	合計(人)	増減
21年度	1.75%	1,305	440	—	1,745	
22年度	1.62%	1,157	494	—	1,651	△ 94
23年度	1.66%	1,177	530	—	1,707	56
24年度	1.50%	1,083	480	—	1,563	△ 144
25年度	1.51%	1,107	473	10	1,590	27
26年度	1.40%	1,020	443	14	1,477	△ 113
27年度	1.24%	875	391	38	1,304	△ 173
28年度	1.27%	1,008	282	42	1,332	28
29年度	1.29%	1,008	327	11	1,346	14
30年度	1.31%	1,054	262	37	1,353	7
元年度	0.96%	778	179	15	972	△381

注1)平成25年度より通信制課程が加わった。

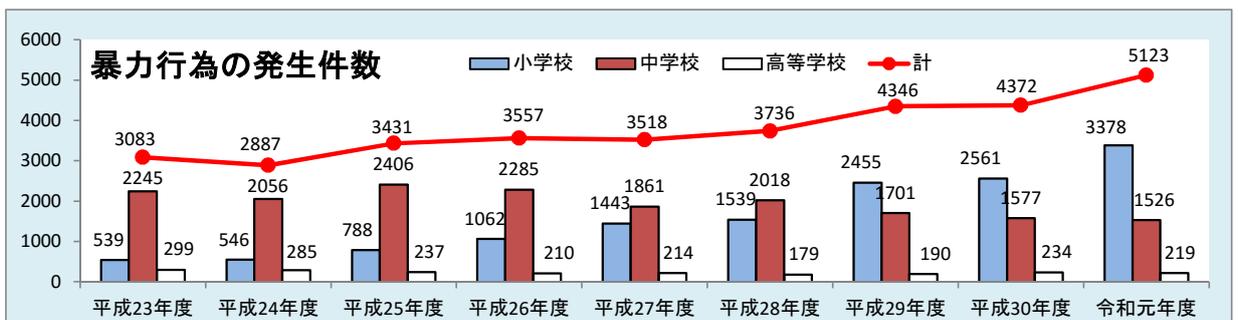
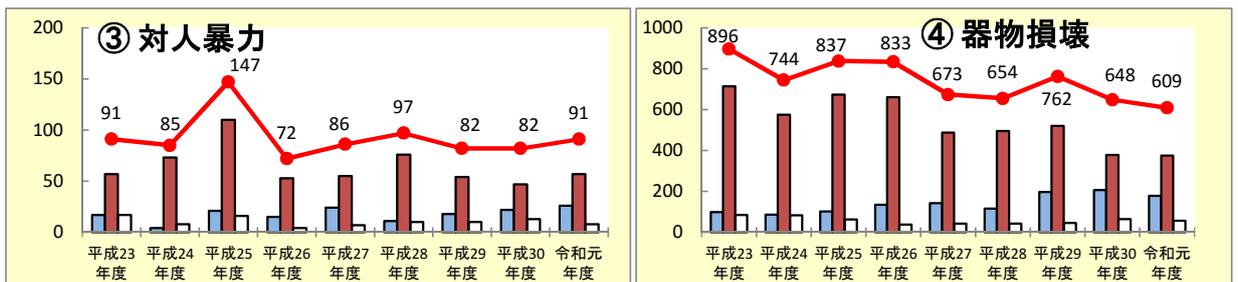
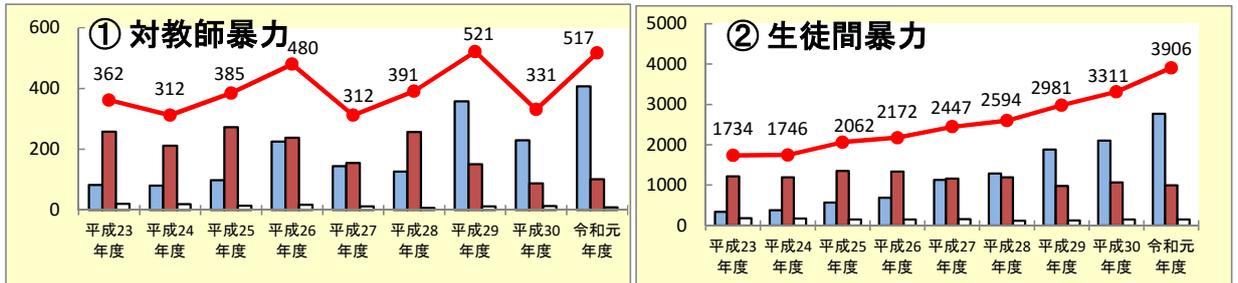
6 自殺

年度	小学校(人)	中学校(人)	高等学校(人)	合計(人)
21年度	0	2	4	6
22年度	0	1	5	6
23年度	0	1	0	1
24年度	1	2	9	12
25年度	0	4	8	12
26年度	2	4	7	13
27年度	0	4	4	8
28年度	0	2	6	8
29年度	1	6	6	13
30年度	0	8	14	22
元年度	1	3	9	13

令和元年度 公立小・中・高等学校の暴力行為の発生件数(千葉県)

(単位:延べ件数)

年度	学校種別	① 対教師暴力		② 生徒間暴力		③ 対人暴力		④ 器物損壊	小計	計
		校内	校外	校内	校外	校内	校外	校内		
平成23年度	小学校	83	0	317	24	15	2	98	539	3,083
	中学校	244	14	1,088	128	9	48	714	2,245	
	高等学校	21	0	154	23	0	17	84	299	
平成24年度	小学校	80	0	353	23	2	2	86	546	2,887
	中学校	211	1	1,048	148	8	65	575	2,056	
	高等学校	20	0	152	22	0	8	83	285	
平成25年度	小学校	98	0	535	33	19	2	101	788	3,431
	中学校	271	2	1,212	138	44	66	673	2,406	
	高等学校	14	0	123	21	3	13	63	237	
平成26年度	小学校	225	0	668	20	7	8	134	1,062	3,557
	中学校	235	3	1,210	123	12	41	661	2,285	
	高等学校	17	0	139	12	1	3	38	210	
平成27年度	小学校	145	0	1,077	54	19	5	143	1,443	3,518
	中学校	154	1	1,102	62	37	18	487	1,861	
	高等学校	12	0	143	9	6	1	43	214	
平成28年度	小学校	127	0	1,238	47	9	2	116	1,539	3,736
	中学校	257	0	1,148	42	38	38	495	2,018	
	高等学校	7	0	103	16	3	7	43	179	
平成29年度	小学校	358	0	1,801	81	16	2	197	2,455	4,346
	中学校	151	0	936	40	27	27	520	1,701	
	高等学校	12	0	111	12	2	8	45	190	
平成30年度	小学校	230	0	2,030	73	17	5	206	2,561	4,372
	中学校	88	0	1,017	47	19	28	378	1,577	
	高等学校	13	0	136	8	9	4	64	234	
令和元年度	小学校	407	0	2,678	89	17	9	178	3,378	5,123
	中学校	101	0	965	28	38	19	375	1,526	
	高等学校	9	0	132	14	0	8	56	219	



※ 暴力行為の定義(平成19年度一部改訂)

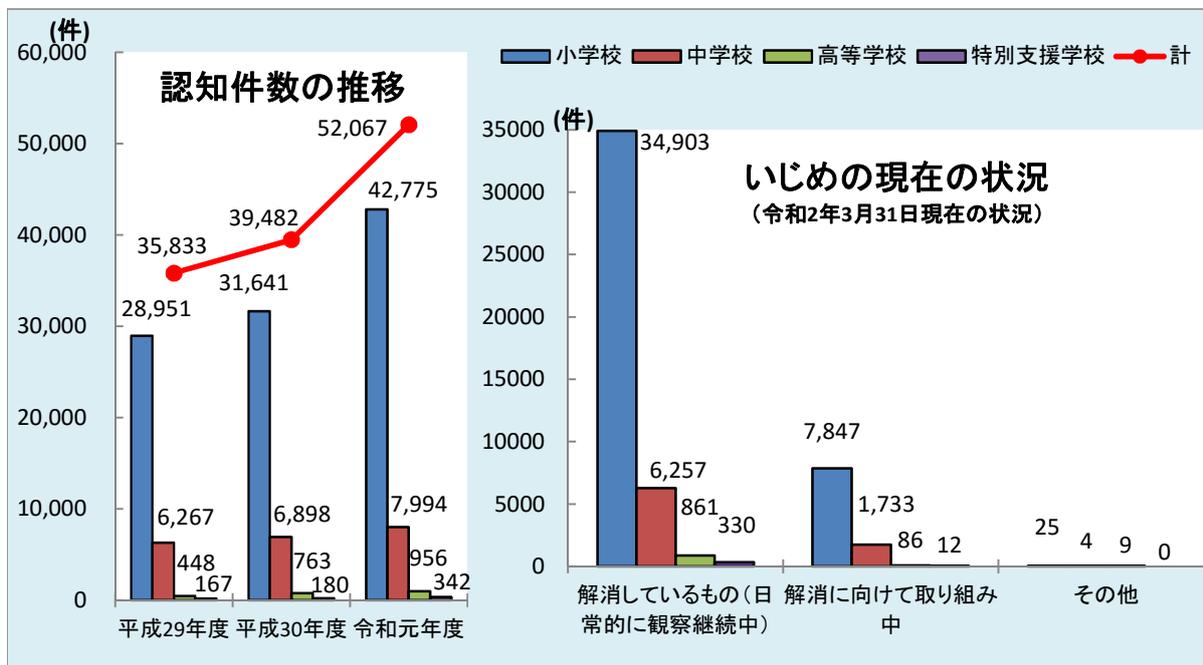
「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力(目に見える物理的な力)を加える行為」をいい、被暴力行為の対象によって、「対教師暴力」(教師に限らず、用務員等の学校職員も含む)、「生徒間暴力」(何らかの人間関係がある児童生徒同士に限る)、「対人暴力」(対教師暴力、生徒間暴力の対象者を除く)、学校の施設・設備等の「器物損壊」の四形態に分ける。ただし、家族・同居人に対する暴力行為は、調査対象外とする。

令和元年度 公立小・中・高・特支のいじめの状況等(千葉県)

1 いじめの認知状況等

	区 分	公立学校 総数	うち認知校数及び 割合(%)		認知件数	増減【%】	一校平均 件数
			校数	割合(%)			
小学校	平成29年度	796	724	91.0%	28,951	4,075【16.4%】	36.4
	平成30年度	794	745	93.8%	31,641	2,690【9.3%】	39.9
	令和元年度	781	758	97.1%	42,775	11,134【35.2%】	54.8
中学校	平成29年度	379	352	92.9%	6,267	△109【△1.7%】	16.5
	平成30年度	379	362	95.5%	6,898	631【10.1%】	18.2
	令和元年度	377	368	97.6%	7,994	1,096【15.9%】	21.2
高等学校	平成29年度	146	113	77.4%	448	195【77.1%】	3.1
	平成30年度	146	129	88.4%	763	315【70.3%】	5.2
	令和元年度	145	131	90.3%	956	193【25.3%】	6.6
特別 学校 支援	平成29年度	43	19	44.2%	167	55【49.1%】	3.9
	平成30年度	43	22	51.2%	180	13【7.8%】	4.2
	令和元年度	43	29	67.4%	342	162【90%】	8.0
計	平成29年度	1,364	1,208	88.6%	35,833	4,216【13.3%】	26.3
	平成30年度	1,362	1,258	92.4%	39,482	3,649【10.2%】	29.0
	令和元年度	1,346	1,286	95.5%	52,067	12,585【31.9%】	38.7

※高等学校の「公立学校総数」は、県立、市立の全日制127校、定時制17校、通信制1校の合計である。



※いじめの定義(平成25年度一部改訂)

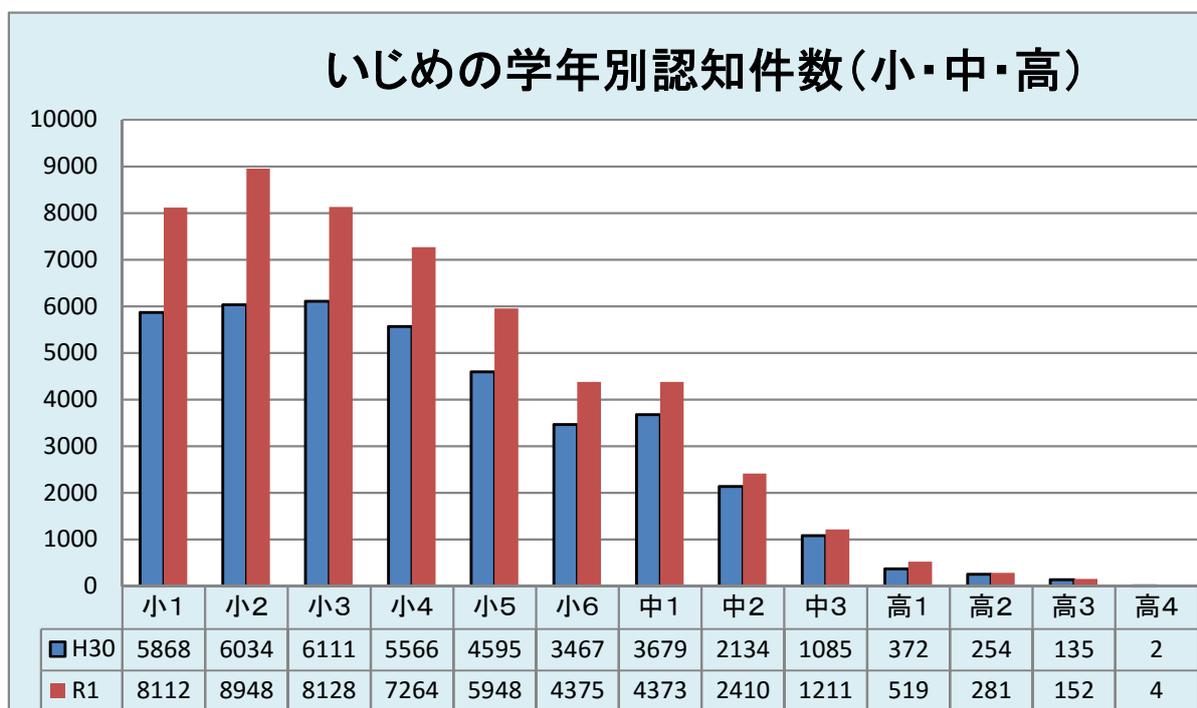
本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

2 いじめの認知件数の学年別, 男女別内訳

(単位:件)

区分		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	
小学校	男子	4,653	4,961	4,410	4,015	3,417	2,583	24,039	
	女子	3,459	3,987	3,718	3,249	2,531	1,792	18,736	
	小計	8,112	8,948	8,128	7,264	5,948	4,375	42,775	
中学校	男子	2,655	1,327	635	—	—	—	4,617	
	女子	1,718	1,083	576	—	—	—	3,377	
	小計	4,373	2,410	1,211	—	—	—	7,994	
高等学校	男子	263	130	79	3	—	—	475	
	女子	256	151	73	1	—	—	481	
	小計	519	281	152	4	—	—	956	
特別支援学校	小学部	男子	5	4	2	6	22	13	52
		女子	0	1	2	10	5	6	24
		小計	5	5	4	16	27	19	76
	中学部	男子	11	15	4	—	—	—	30
		女子	6	1	3	—	—	—	10
		小計	17	16	7	—	—	—	40
	高等部	男子	98	38	47	—	—	—	183
		女子	13	20	10	—	—	—	43
		小計	111	58	57	—	—	—	226
特別支援学校計		133	79	68	16	27	19	342	
合計		13,137	11,718	9,559	7,284	5,975	4,394	52,067	

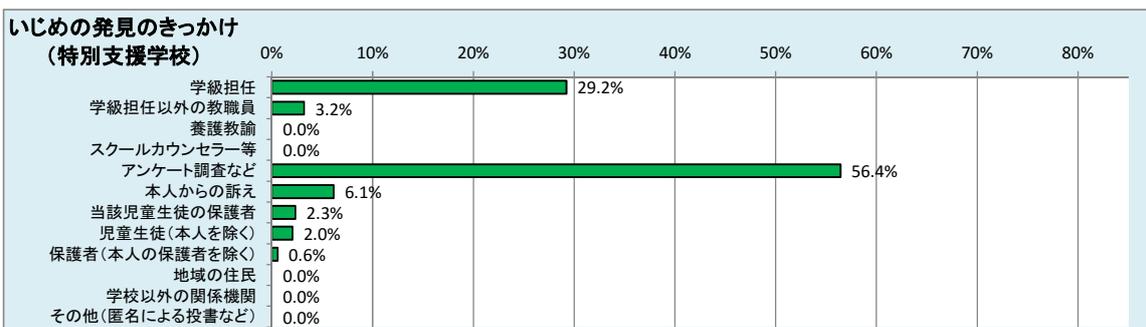
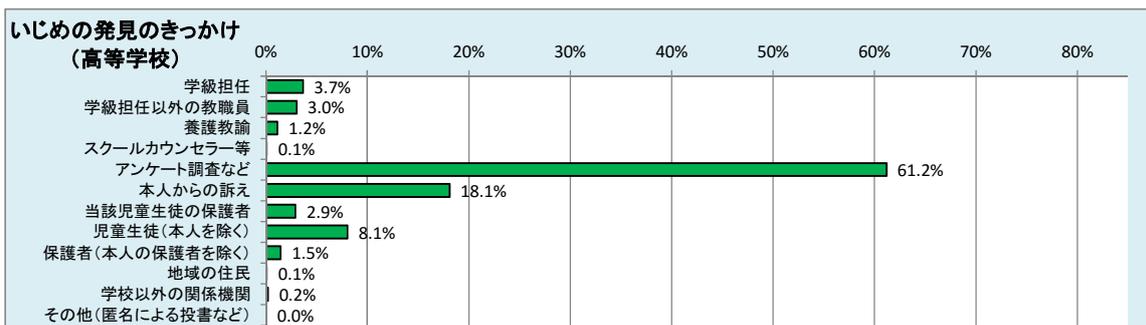
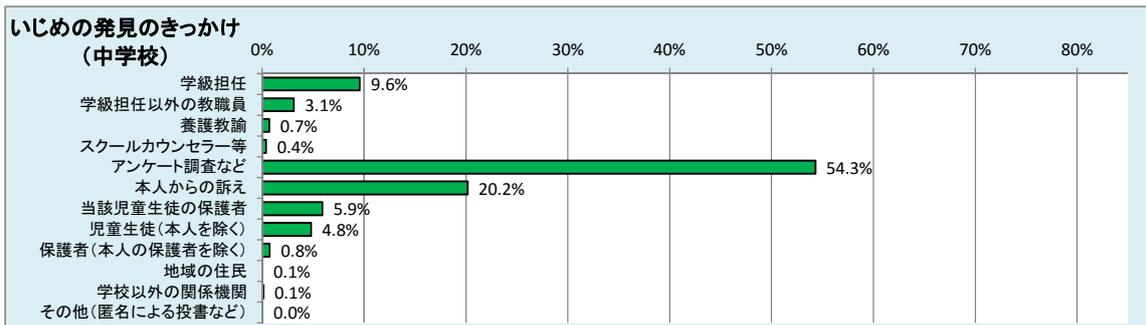
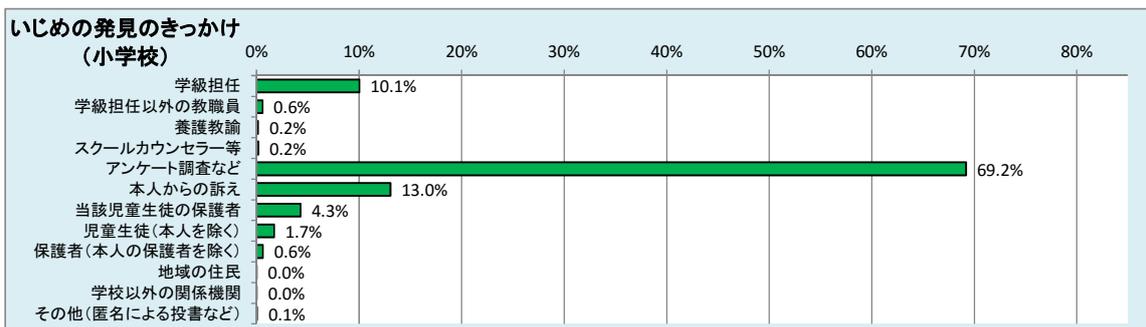


(注)調査では、単位制の高等学校の1年次生は「高1」、2年次生は「高2」、3年次生は「高3」、4年次生以上は「高4」としてそれぞれ計上している。

3 いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計	
学校の教職員等が発見	34,295	5,446	661	304	40,706	
内訳	学級担任	4,299	767	35	100	5,201
	学級担任以外の教職員	252	250	29	11	542
	養護教諭	72	57	11	0	140
	スクールカウンセラー等	75	31	1	0	107
	アンケート調査など	29,597	4,341	585	193	34,716
学校の教職員以外からの情報により発見	8,480	2,548	295	38	11,361	
内訳	本人からの訴え	5,579	1,613	173	21	7,386
	当該児童生徒の保護者	1,836	473	28	8	2,345
	児童生徒(本人を除く)	737	385	77	7	1,206
	保護者(本人の保護者を除く)	273	60	14	2	349
	地域の住民	7	4	1	0	12
	学校以外の関係機関	18	11	2	0	31
	その他(匿名による投書など)	30	2	0	0	32
	計	42,775	7,994	956	342	52,067



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

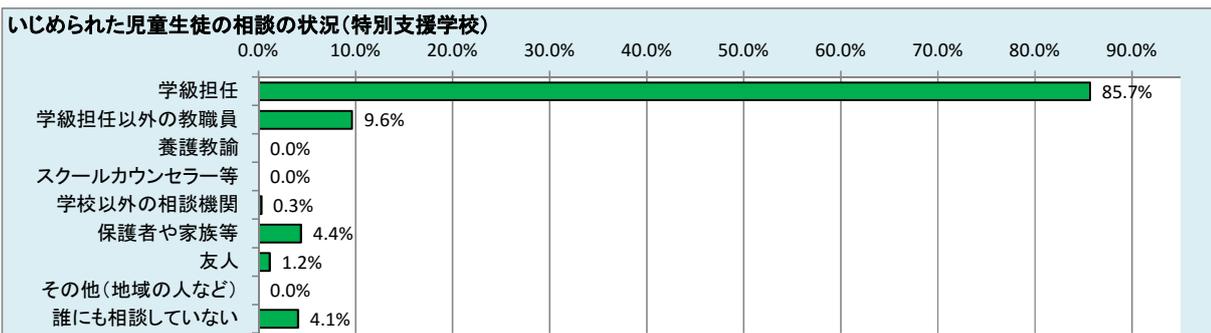
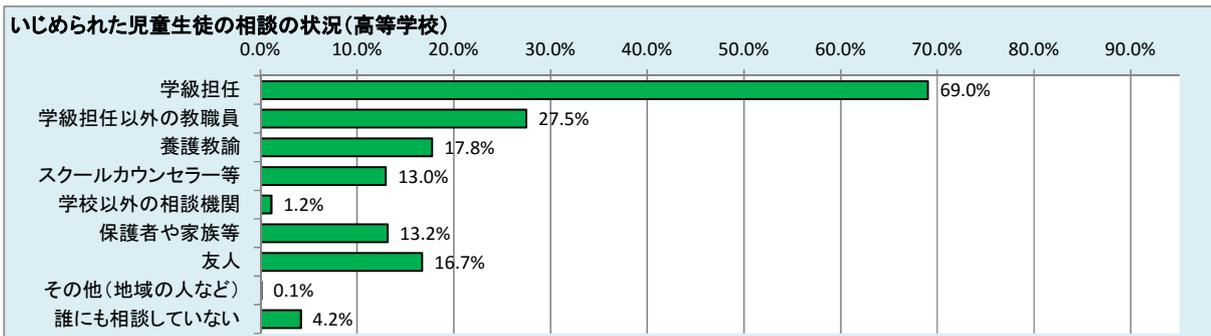
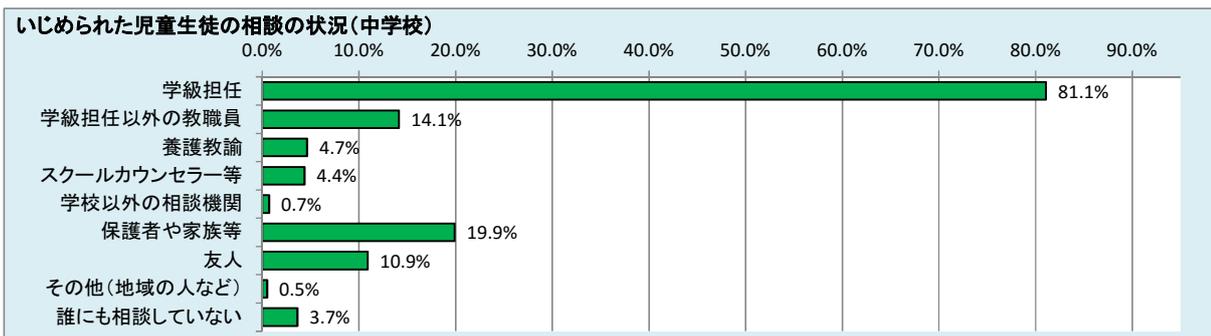
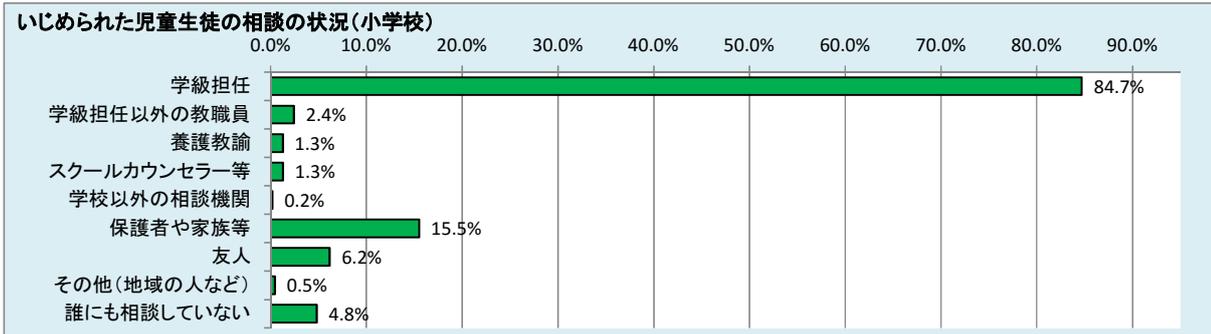
(認知件数: 小学校42,775件、中学校7,994件、高等学校956件、特別支援学校342件)

4 いじめられた児童生徒の相談の状況

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任	36,230	6,481	660	293	43,664
学級担任以外の教職員	1,043	1,131	263	33	2,470
養護教諭	547	372	170	0	1,089
スクールカウンセラー等	553	349	124	0	1,026
学校以外の相談機関	84	57	11	1	153
保護者や家族等	6,638	1,592	126	15	8,371
友人	2,640	874	160	4	3,678
その他(地域の人など)	194	40	1	0	235
誰にも相談していない	2,064	292	40	14	2,410
計	49,993	11,188	1,555	360	63,096

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

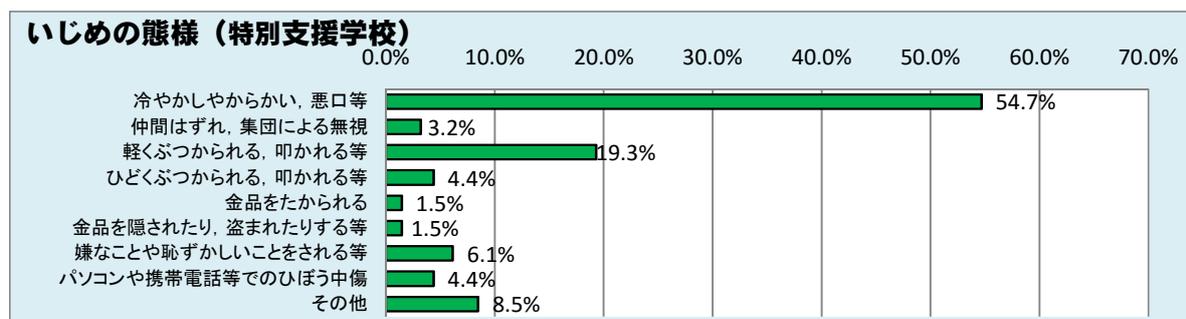
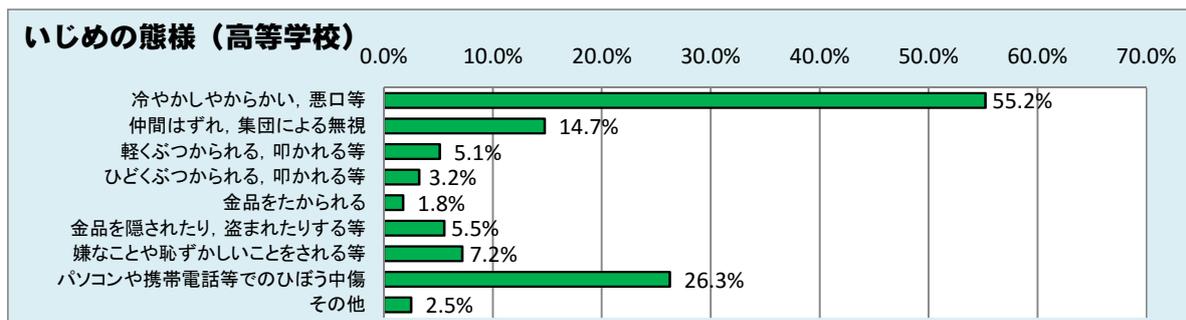
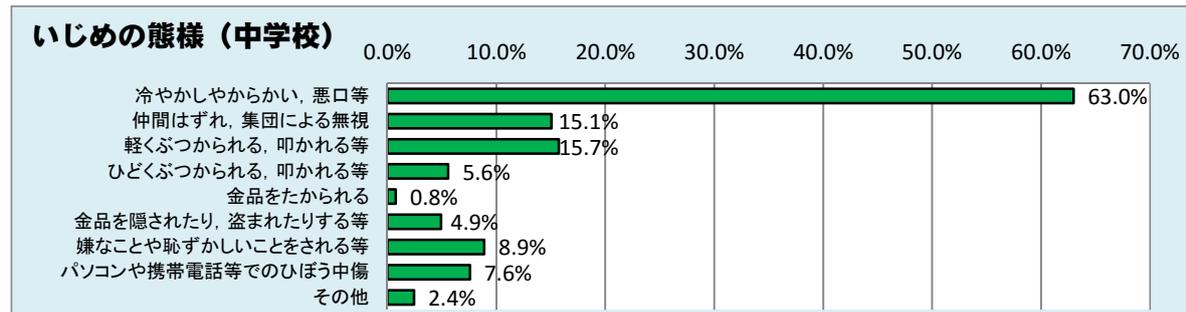
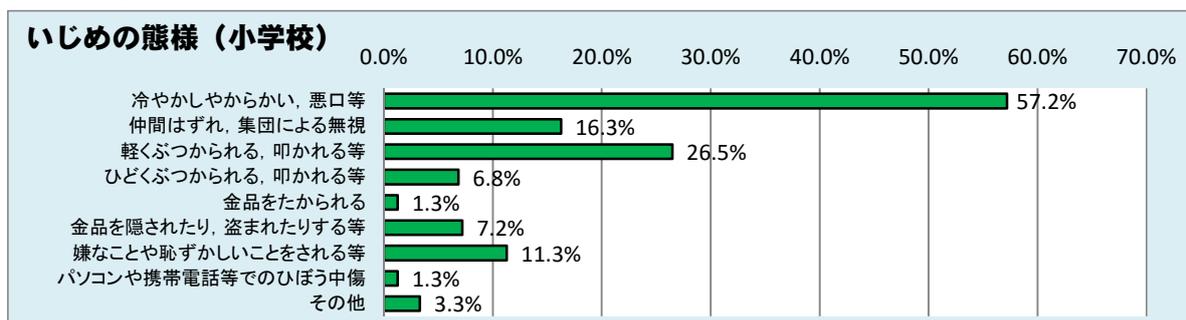
(認知件数: 小学校42,775件、中学校7,994件、高等学校956件、特別支援学校342件)

5 いじめの態様

(単位:件)

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしやからかい, 悪口等	24,470	5,034	528	187	30,219
仲間はずれ, 集団による無視	6,955	1,204	141	11	8,311
軽くぶつかられる, 叩かれる等	11,324	1,258	49	66	12,697
ひどくぶつかられる, 叩かれる等	2,927	446	31	15	3,419
金品をたかられる	542	62	17	5	626
金品を隠されたり, 盗まれたりする等	3,084	394	53	5	3,536
嫌なことや恥ずかしいことをされる等	4,824	710	69	21	5,624
パソコンや携帯電話等でのひぼう中傷	541	606	251	15	1,413
その他	1,415	195	24	29	1,663
計	56,082	9,909	1,163	354	67,508

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

(認知件数: 小学校42,775件、中学校7,994件、高等学校956件、特別支援学校342件)

令和元年度 公立小中学校の長期欠席の状況等(千葉県)

1-(1)長期欠席者数(在籍者数は、5月1日現在の学校基本調査による)

	在籍者数(5/1現在)	長期欠席者総数	長期欠席率(%)
小学校	309,308	4,708	1.52%
中学校	147,039	7,254	4.93%
合 計	456,347	11,962	2.62%

(注)長期欠席者とは、一つの年度間に連続又は断続して30日以上欠席した者である。

1-(2)理由別長期欠席者数

長期欠席の理由	小学校			中学校			合 計		
	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)
病 気	1,467	0.47%	31.16%	1,677	1.14%	23.12%	3,144	0.69%	26.28%
経済的理由	0	0.00%	0.00%	1	0.00%	0.01%	1	0.00%	0.01%
不登校	2,352	0.76%	49.96%	5,149	3.50%	70.98%	7,501	1.64%	62.71%
その他	889	0.29%	18.88%	427	0.29%	5.89%	1,316	0.29%	11.00%
合 計	4,708	1.52%	100%	7,254	4.93%	100%	11,962	2.62%	100%

(注1)出現率とは、理由別長期欠席者数の全生徒数に対する割合である。

(注2)割合とは、理由別長期欠席者数の合計に占める割合である。

(注3)欠席理由が2つ以上あるときは、主な理由を1つ選び記入する。

2 不登校児童生徒における前年度の不登校の有無

	有	無	合 計
小学校	991	1,361	2,352
中学校	2,817	2,332	5,149
合 計	3,808	3,693	7,501

(注)小学校1年108名については入学前の調査はしていない。

3 小・中学校における不登校児童生徒数の変遷

区分	年度	学校数	全児童生徒数 (人)	不登校児童生 徒数(人)	前年度との不 登校数の差 (人)	全児童生徒に 対する割合 (%)	前年度との割 合の差
小 学 校	平成14年度	859	327,455	839		0.26%	
	平成15年度	859	329,643	848	9	0.26%	0.00
	平成16年度	859	329,922	764	-84	0.23%	-0.03
	平成17年度	858	331,897	776	12	0.23%	0.00
	平成18年度	855	333,374	821	45	0.25%	0.02
	平成19年度	854	332,846	819	-2	0.25%	0.00
	平成20年度	850	334,308	811	-8	0.24%	-0.01
	平成21年度	845	333,929	852	41	0.26%	0.02
	平成22年度	847	333,188	871	19	0.26%	0.00
	平成23年度	838	331,232	898	27	0.27%	0.01
	平成24年度	837	325,557	856	-42	0.26%	-0.01
	平成25年度	828	322,121	1,086	230	0.34%	0.08
	平成26年度	820	319,190	1,158	72	0.36%	0.02
	平成27年度	810	316,855	1,233	75	0.39%	0.03
	平成28年度	806	314,710	1,456	223	0.46%	0.07
	平成29年度	796	312,913	1,606	150	0.51%	0.05
	平成30年度	794	312,314	2,016	410	0.65%	0.14
令和元年度	781	309,308	2,352	336	0.76%	0.11	
中 学 校	平成14年度	385	161,781	4,301		2.66%	
	平成15年度	385	156,398	4,085	-216	2.61%	-0.05
	平成16年度	384	152,280	3,992	-93	2.62%	0.01
	平成17年度	382	150,490	4,091	99	2.72%	0.10
	平成18年度	383	149,670	4,190	99	2.80%	0.08
	平成19年度	384	150,894	4,363	173	2.89%	0.09
	平成20年度	385	151,289	4,340	-23	2.87%	-0.02
	平成21年度	383	153,337	4,247	-93	2.77%	-0.10
	平成22年度	383	152,764	4,182	-65	2.74%	-0.03
	平成23年度	382	154,643	3,879	-303	2.51%	-0.23
	平成24年度	383	154,563	3,734	-145	2.42%	-0.09
	平成25年度	382	155,022	3,884	150	2.51%	0.09
	平成26年度	382	154,662	3,963	79	2.56%	0.05
	平成27年度	381	154,585	4,160	197	2.69%	0.13
	平成28年度	381	153,293	4,191	31	2.73%	0.04
	平成29年度	379	151,710	4,637	446	3.06%	0.33
	平成30年度	379	148,104	5,100	463	3.44%	0.38
令和元年度	377	147,039	5,149	49	3.50%	0.06	
合 計	平成14年度	1244	489,236	5,140		1.05%	
	平成15年度	1244	486,041	4,933	-207	1.01%	-0.04
	平成16年度	1243	482,202	4,756	-177	0.99%	-0.02
	平成17年度	1240	482,387	4,867	111	1.01%	0.02
	平成18年度	1238	483,044	5,011	144	1.04%	0.03
	平成19年度	1238	483,740	5,182	171	1.07%	0.03
	平成20年度	1235	485,597	5,151	-31	1.06%	-0.01
	平成21年度	1228	487,266	5,099	-52	1.05%	-0.01
	平成22年度	1230	485,952	5,053	-46	1.04%	-0.01
	平成23年度	1220	485,875	4,777	-276	0.98%	-0.06
	平成24年度	1220	480,120	4,590	-187	0.96%	-0.02
	平成25年度	1210	477,143	4,970	380	1.04%	0.08
	平成26年度	1202	473,852	5,121	151	1.08%	0.04
	平成27年度	1191	471,440	5,393	272	1.14%	0.06
	平成28年度	1187	468,003	5,647	254	1.21%	0.07
	平成29年度	1175	464,623	6,243	596	1.34%	0.13
	平成30年度	1173	460,418	7,116	873	1.55%	0.21
令和元年度	1158	456,347	7,501	385	1.64%	0.09	

4 学年別不登校児童生徒数

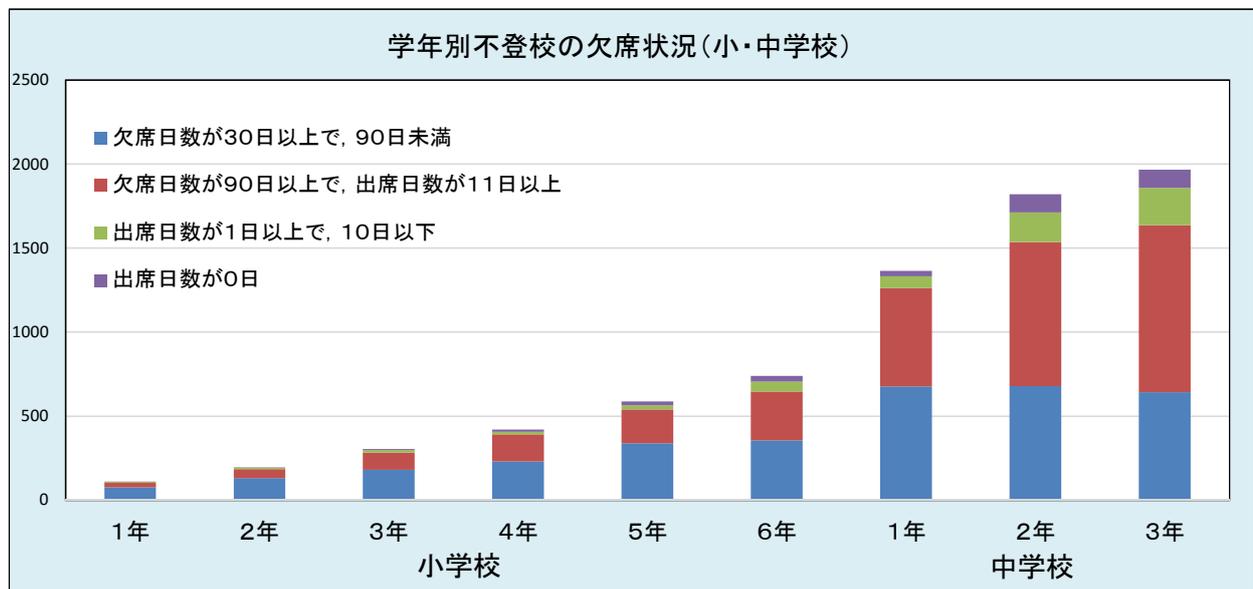
(1) 小学校

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
不登校児童数	108	196(63)	304(111)	419(185)	586(260)	739(372)	2,352(991)
うち、90日以上欠席	32	66	124	190	248	385	1,045
うち、出席日数が10日以下	5	12	21	29	46	94	207
うち、出席日数が0日	1	3	6	12	23	34	79

(2) 中学校

区分	1年	2年	3年	合計
不登校生徒数	1,364(294)	1,819(1,096)	1,966(1,427)	5,149(2,817)
うち、90日以上欠席	689	1,141	1,324	3,154
うち、出席日数が10日以下	103	284	331	718
うち、出席日数が0日	33	107	109	249

※()内は前回調査でも不登校として計上されていた児童生徒の人数。(中学校1年については、前回調査における小学校6年時のもの。)



5 不登校児童生徒の在籍学校数

区 分	学校総数(校)	不登校在籍学校数(校)
小 学 校	781	597
中 学 校	377	361
合 計	1,158	958

6 不登校児童生徒への指導結果状況

区 分	小学校	中学校	計
	人数 %	人数 %	人数 %
指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	391 16.6%	1,082 21.0%	1,473 19.6%
指導中の児童生徒	1,961 83.4%	4,067 79.0%	6,028 80.4%
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童生徒	603 25.6%	1,285 25.0%	1,888 25.2%
合 計	2,352	5,149	7,501

7 不登校の要因

(1) 小学校・中学校

区分 学校種	不登校児童生徒数	学校に係る状況									家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	級入学、転編入学、進	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安		
小学校 主たるもの (一人1つ必ず選択)	2,352	8	257	61	115	9	6	26	58	84	313	39	243	1,082	51	
		0.3%	10.9%	2.6%	4.9%	0.4%	0.3%	1.1%	2.5%	3.6%	13.3%	1.7%	10.3%	46.0%	2.2%	
中学校 主たるもの (一人1つ必ず選択)	5,149	14	1,029	65	472	66	34	49	188	118	324	92	475	2,094	129	
		0.3%	20.0%	1.3%	9.2%	1.3%	0.7%	1.0%	3.7%	2.3%	6.3%	1.8%	9.2%	40.7%	2.5%	
合計	7,501	22	1,286	126	587	75	40	75	246	202	637	131	718	3,176	180	
		0.3%	17.1%	1.7%	7.8%	1.0%	0.5%	1.0%	3.3%	2.7%	8.5%	1.7%	9.6%	42.3%	2.4%	

(注1) 「長期欠席者の状況」における「不登校」と回答した不登校児童生徒全員につき回答したもので、

<区分>

* 学校に係る状況

- ・いじめ……………本調査で定義するいじめに該当するもの
- ・いじめを除く友人関係をめぐる問題……………仲違い等
- ・教職員との関係をめぐる問題……………教職員の強い叱責、注意等
- ・学業の不振……………成績の不振、授業が分からない、試験が嫌い等
- ・進路にかかる不安……………将来の進路希望が定まらない等
- ・クラブ活動、部活動等への不適応……………部活動の練習に参加したくない等
- ・学校のきまり等をめぐる問題……………制服を着たくない、給食を食べたくない、学校行事に参加したくない等
- ・入学、転編入学、進級時の不適応……………転校したくなかった、クラス替えが自分の願う学級編成ではなかった等

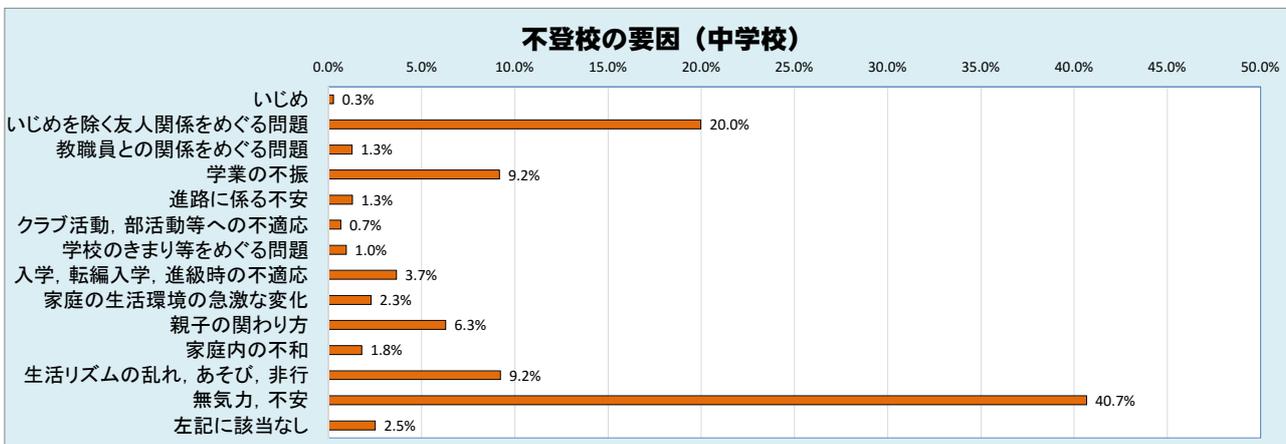
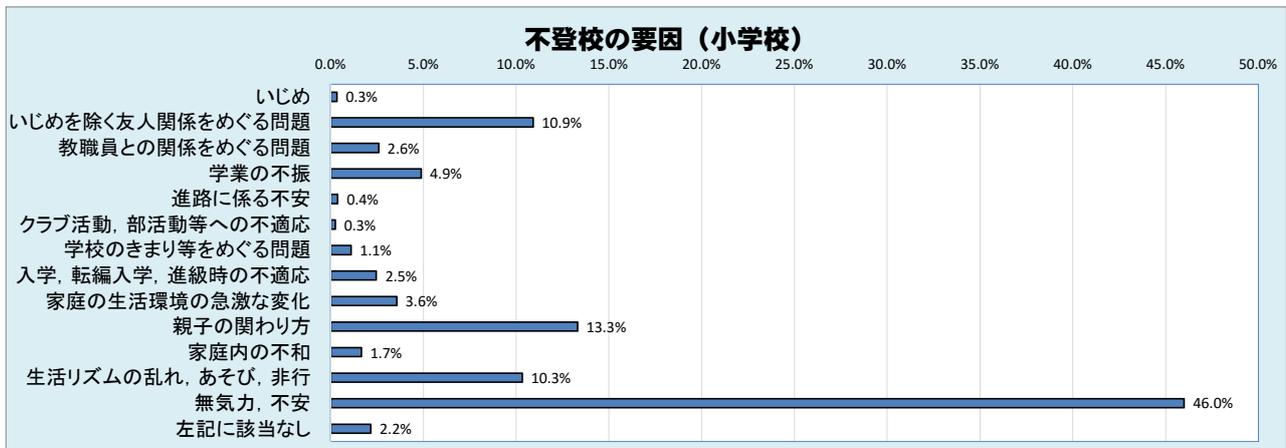
* 家庭に係る状況

- ・家庭の生活環境の急激な変化……………親の単身赴任、離婚等
- ・親子の関わり方……………親の叱責、親の言葉・態度への反発、親の過干渉・放任等
- ・家庭内の不和……………両親の不和、祖父母と父母の不和等

* 本人に係る状況

- ・生活リズムの乱れ、あそび、非行……………就寝起床時間が定まらず昼夜逆転になる、非行グループに入り非行行為を行う等
- ・無気力、不安……………無気力でなんとなく登校しない。登校の意思はあるが、漠然とした不安を抱え登校しない(できない。)等

* 左記に該当なし……………本人や保護者と話しても上記のような傾向が見えず、学校、家庭及び本人に係る状況に当てはまるものがない



8 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	小学校					中学校					計					
	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	出席扱いにした学校数(実数)	通学定期乗車券制度適用人数	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	出席扱いにした学校数(実数)	通学定期乗車券制度適用人数	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	出席扱いにした学校数(実数)	通学定期乗車券制度適用人数	
学 校	(1)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けた実人数	964	41.0%	374	204	1,445	28.1%	879	263	2,409	32.1%	1,253	467			
	① 教育支援センター(適応指導教室)	268	11.4%	213	144	0	550	③ 10.7%	524	210	22	818	③ 10.9%	737	354	22
	② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	376	③ 16.0%	179	101	2	410	8.0%	294	110	9	786	10.5%	473	211	11
	③ 児童相談所、福祉事務所	105	4.5%	13	12		121	2.3%	61	48		226	3.0%	74	60	
	④ 保健所、精神保健福祉センター	11	0.5%	1	1		9	0.2%	2	2		20	0.3%	3	3	
	⑤ 病院、診療所	214	9.1%	20	16		250	4.9%	15	10		464	6.2%	35	26	
	⑥ 民間団体、民間施設	95	4.0%	55	41	4	118	2.3%	88	64	15	213	2.8%	143	105	19
	⑦ 上記以外の機関等	44	1.9%	6	4		101	2.0%	34	21		145	1.9%	40	25	
外	(2)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	1,388	59.0%				3,704	71.9%				5,092	67.9%			
	(3) (1)、(2)の合計	2,352	100%				5,149	100%				7,501	100%			
学 校 内	(4)⑧、⑨による相談・指導等を受けた実人数	1026	43.6%				1,921	37.3%				2,947	39.3%			
	⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	426	② 18.1%				766	② 14.9%				1,192	② 15.9%			
	⑨ スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	753	① 32.0%				1,470	① 28.5%				2,223	① 29.6%			
	(5)上記⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数	1,326	56.4%				3,228	62.7%				4,554	60.7%			
	(6) (4)、(5)の合計	2,352	100%				5,149	100%				7,501	100%			
(7)上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数	587	25.0%				1,912	37.1%				2,499	33.3%				

(注)複数回答を可としている。上記の割合(%)は不登校児童生徒数に対する割合を示している。
(不登校児童生徒数:小学校 2,352人、中学校 5,149人、合計 7,501人)

令和元年度 公立高等学校の長期欠席の状況等(千葉県)

1-(1)長期欠席者数(在籍者数は、5月1日現在の学校基本調査による)

	在籍者数(5/1現在)	長期欠席者総数	前年度増減	長期欠席率(%)	前年比
全日制	97,599	2,008	-358	2.06%	-0.31%
定時制	2,656	908	-26	34.19%	-0.01%
合計	100,255	2,916	-384	2.91%	-0.31%

(注)長期欠席者とは、一つの年度間に連続又は断続して30日以上欠席した者である。

1-(2)理由別長期欠席者数

長期欠席の理由	全日制			定時制			全定合計		
	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)
病気	305	0.31%	15.19%	64	2.41%	7.05%	369	0.37%	12.65%
経済的理由	5	0.01%	0.25%	20	0.75%	2.20%	25	0.02%	0.86%
不登校	1,614	1.65%	80.38%	767	28.88%	84.47%	2,381	2.37%	81.65%
その他	84	0.09%	4.18%	57	2.15%	6.28%	141	0.14%	4.84%
合計	2,008	2.06%	100%	908	34.19%	100%	2,916	2.91%	100%

(注1)出現率とは、理由別長期欠席者数の全生徒数に対する割合である。

(注2)割合とは、理由別長期欠席者数の合計に占める割合である。

(注3)欠席理由が2つ以上あるときは、主な理由を1つ選び記入する。

(注4)資料中の割合の欄は四捨五入で処理した数値のため、合計と合わない場合がある。

2 不登校生徒における前年度の不登校の有無

	有	無	その他	合計
全日制	352	1,262	0	1,614
定時制	473	294	0	767
合計	825	1,556	0	2,381

(注)「その他」は、不登校生徒のうち前年度の不登校の状況が確認できなかった者である。

3-（1）課程別不登校生徒数

	全 日 制		定 時 制		全 定 合 計	
	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)
1学年	384	1.50%	/		384	1.50%
2学年	518	1.99%	/		518	1.99%
3学年	483	1.85%	/		483	1.85%
単位制	229	1.16%	767	28.88%	996	4.43%
合 計	1,614	1.65%	767	28.88%	2,381	2.37%

3-（2）課程別不登校生徒欠席状況

区 分	全 日 制				定時制 (単位制)	全定合計
	1年	2年	3年	単位制		
不登校生徒数	384	518	483	229	767	2,381
うち、90日以上欠席	46	42	23	21	149	281
うち、出席日数が10日以下	5	3	1	3	36	48
うち、出席日数が0日	2	2	0	1	15	20

3-（3）不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

	不登校生徒数	中途退学者数	中途退学率(%)	原級留置者数	原級留置率(%)
全 日 制	1,614	349	21.62%	16	0.99%
定 時 制	767	120	15.65%	/	
合 計	2,381	469	19.70%	16	0.67%

3-（4）不登校生徒への指導結果状況

区 分		全 日 制	定 時 制	全 定 合 計
		人数 %	人数 %	人数 %
指導の結果登校する又はできるようになった生徒		776	339	1,115
		48.1%	44.2%	46.8%
指導中の生徒		838	428	1,266
		51.9%	55.8%	53.2%
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒	163	78	241	
	10.1%	10.2%	10.1%	
合 計		1,614	767	2,381

4 不登校の要因

(1) 高校(全日制・定時制)

学校種	区分	不登校生徒数	学校に係る状況							家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	
			いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行		無気力、不安
全日制	主たるもの (一人1つ必ず選択)	1,614	6	194	8	88	72	15	11	92	42	40	28	355	624	39
			0.4%	12.0%	0.5%	5.5%	4.5%	0.9%	0.7%	5.7%	2.6%	2.5%	1.7%	22.0%	38.7%	2.4%
定時制	主たるもの (一人1つ必ず選択)	767	0	72	5	22	18	0	6	17	25	18	16	169	369	30
			0.0%	9.4%	0.7%	2.9%	2.3%	0.0%	0.8%	2.2%	3.3%	2.3%	2.1%	22.0%	48.1%	3.9%
合計		2,381	6	266	13	110	90	15	17	109	67	58	44	524	993	69
			0.3%	11.2%	0.5%	4.6%	3.8%	0.6%	0.7%	4.6%	2.8%	2.4%	1.8%	22.0%	41.7%	2.9%

(注1) 「長期欠席者の状況」における「不登校」と回答した不登校生徒全員につき回答したもの。

<区分>

* 学校に係る状況

- ・いじめ……………本調査で定義するいじめに該当するもの
- ・いじめを除く友人関係をめぐる問題……………仲違い等
- ・教職員との関係をめぐる問題……………教職員の強い叱責、注意等
- ・学業の不振……………成績の不振、授業が分からない、試験が嫌い等
- ・進路にかかる不安……………将来の進路希望が定まらない等
- ・クラブ活動、部活動等への不適応……………部活動の練習に参加したくない等
- ・学校のきまり等をめぐる問題……………制服を着たくない、給食を食べたくない、学校行事に参加したくない等
- ・入学、転編入学、進級時の不適応……………転校したくなかった、クラス替えが自分の願う学級編成ではなかった等

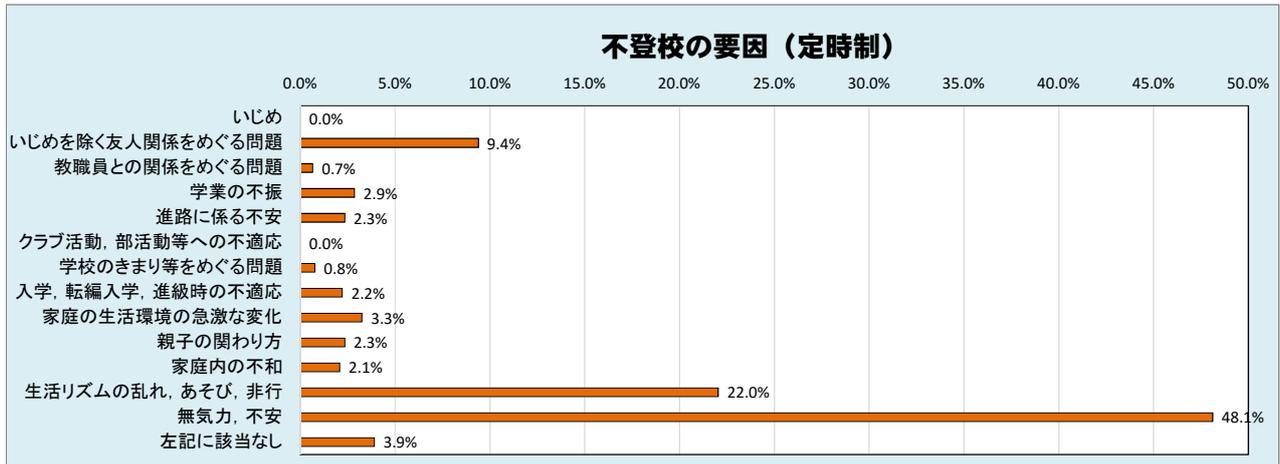
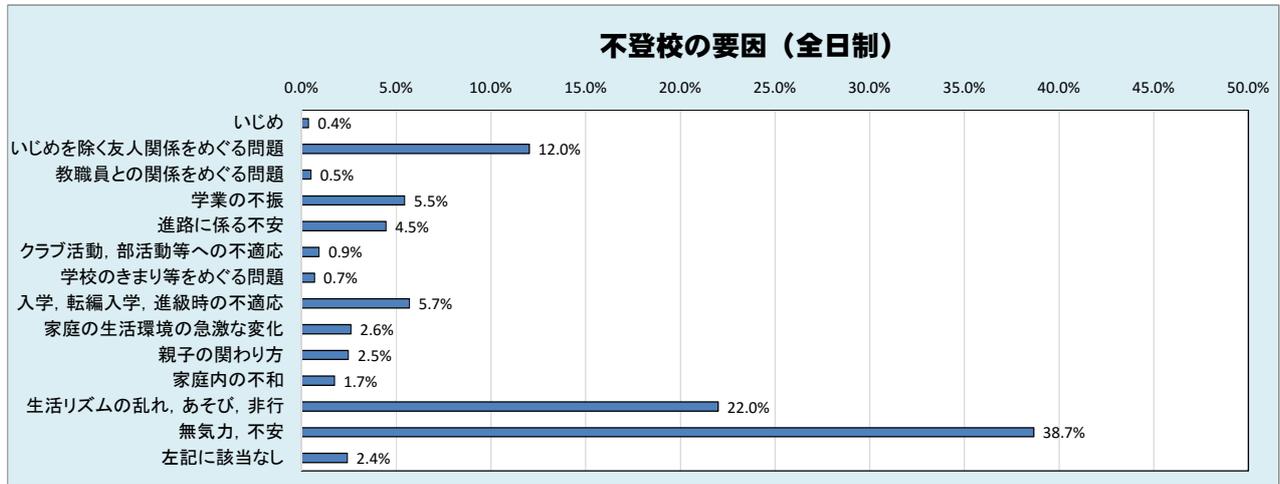
* 家庭に係る状況

- ・家庭の生活環境の急激な変化……………親の単身赴任、離婚等
- ・親子の関わり方……………親の叱責、親の言葉・態度への反発、親の過干渉・放任等
- ・家庭内の不和……………両親の不和、祖父母と父母の不和等

* 本人に係る状況

- ・生活リズムの乱れ、あそび、非行……………就寝起床時間が定まらず昼夜逆転になる、非行グループに入り非行行為を行う等
- ・無気力、不安……………無気力でなんとなく登校しない。登校の意思はあるが、漠然とした不安を抱え登校しない(できない。)等

* 左記に該当なし……………本人や保護者と話しても上記のような傾向が見えず、学校、家庭及び本人に係る状況に当てはまるものがない



5 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区 分		全 日 制		定 時 制		全 定 合 計	
		総数	割合 (%)	総数	割合 (%)	総数	割合 (%)
学 校 外	(1)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けた実人数	204	12.6%	44	5.7%	248	10.4%
	指導要録上出席扱いとなった実人数	14		2		16	
	①教育支援センター(適応指導教室)	3	0.2%	2	0.3%	5	0.2%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	3	0.2%	1	0.1%	4	0.2%
	指導要録上出席扱いとなった人数	3		0		3	
	③児童相談所, 福祉事務所	19	1.2%	12	1.6%	31	1.3%
	指導要録上出席扱いとなった人数	7		1		8	
	④保健所, 精神保健福祉センター	3	0.2%	1	0.1%	4	0.2%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	⑤病院, 診療所	170	③ 10.5%	27	③ 3.5%	197	③ 8.3%
	指導要録上出席扱いとなった人数	8		2		10	
	⑥民間団体, 民間施設	3	0.2%	0	0.0%	3	0.1%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
⑦上記以外の機関等	8	0.5%	1	0.1%	9	0.4%	
指導要録上出席扱いとなった人数	3		0		3		
(2)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	1,367	84.7%	625	81.5%	1,992	83.7%	
(3)不明	43	2.7%	98	12.8%	141	5.9%	
(4) (1)～(3)の合計	1,614	100%	767	100%	2,381	100%	
学 校 内	(5) ⑧, ⑨による相談・指導等を受けた実人数	621	38.5%	125	16.3%	746	31.3%
	⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	435	① 27.0%	56	② 7.3%	491	① 20.6%
	⑨スクールカウンセラー, 相談員等による専門的な相談を受けた人数	396	② 24.5%	85	① 11.1%	481	② 20.2%
	(6)上記⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	993	61.5%	642	83.7%	1,635	68.7%
	(7) (5), (6)の合計	1,614	100%	767	100%	2,381	100%
(8)上記①～⑦, ⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	906	56.1%	542	70.7%	1,448	60.8%	

(注)複数回答を可としている。上記の割合(%)は不登校生徒数に対する割合を示している。
(不登校生徒数:全日制 1,614人、定時制 767人、合計 2,381人)

令和元年度 公立高等学校の中途退学者数等の状況(千葉県)

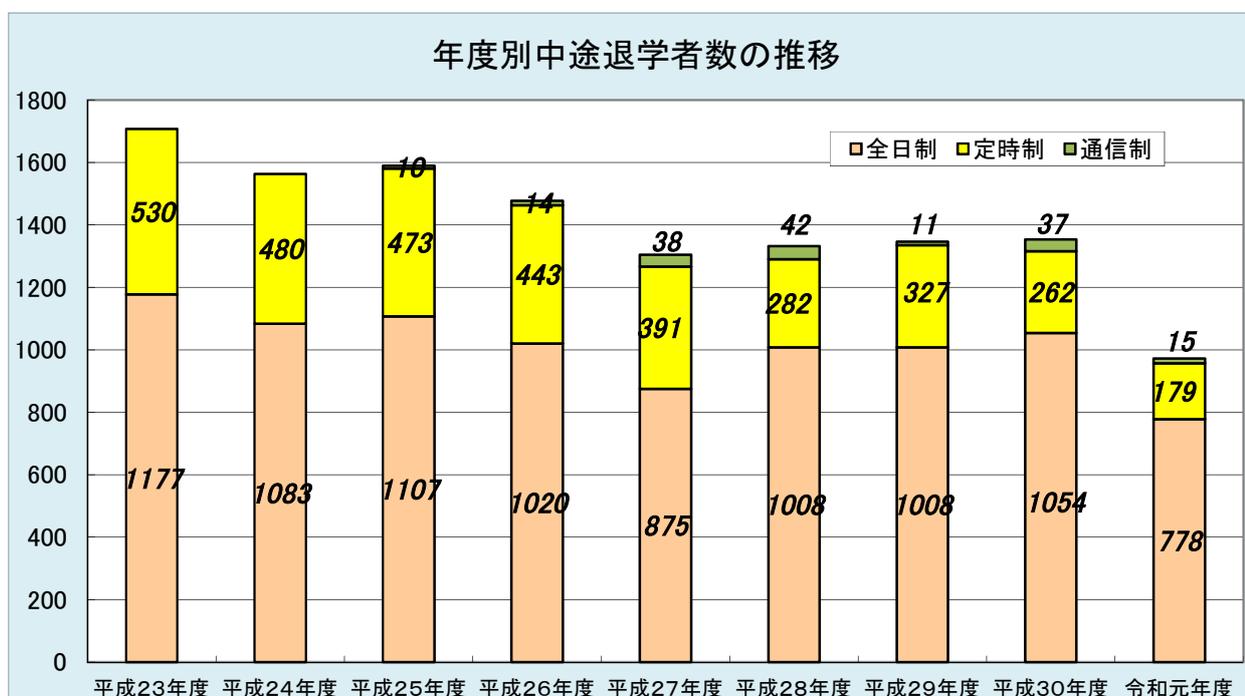
1-(1) 中途退学者数(在籍者数は、4月1日現在による)

	在籍者数(4/1現在)	中途退学者総数	前年度増減	中退率(%)	前年比
全日制	97,626	778	-276	0.80%	-0.26%
定時制	2,664	179	-83	6.72%	-2.82%
通信制	869	15	-22	1.73%	-1.81%
合計	101,159	972	-381	0.96%	-0.35%

1-(2) 中途退学者(人数)・中途退学率(%)の推移

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
全日制	中退者数	1,177	1,083	1,107	1,020	875	1,008	1,008	1,054	778
	中退率(%)	1.18%	1.07%	1.11%	1.01%	0.87%	1.00%	1.00%	1.06%	0.80%
定時制	中退者数	530	480	473	443	391	282	327	262	179
	中退率(%)	14.82%	13.18%	13.45%	13.26%	12.67%	9.69%	11.43%	9.54%	6.72%
通信制	中退者数	—	—	10	14	38	42	11	37	15
	中退率(%)	—	—	0.69%	1.32%	3.29%	3.91%	1.01%	3.54%	1.73%
合計	中退者数	1,707	1,563	1,590	1,477	1,304	1,332	1,346	1,353	972
	中退率(%)	1.66%	1.50%	1.51%	1.40%	1.24%	1.27%	1.29%	1.31%	0.96%

(注) 平成25年度の調査から通信制が加わった。



2-(1) 全日制学年別中途退学者数

学年	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)	中退率 前年比	割合 (%)	割合 前年比
1	25,610	327	1.28%	-0.39%	42.0%	0.2%
2	26,079	265	1.02%	-0.46%	34.1%	-3.2%
3	26,111	112	0.43%	0.00%	14.4%	3.4%
単位制	19,826	74	0.37%	-0.15%	9.5%	-0.4%
合計	97,626	778	0.80%	-0.26%	100%	

2-(2) 定時制・通信制中途退学者数

学年	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)	中退率 前年比
定時制	2,664	179	6.72%	-2.82%
通信制	869	15	1.73%	-1.81%
合計	3,533	194	5.49%	-2.40%

3 中途退学の理由別割合

中途退学の理由	全日制			定時制			通信制			合計			
	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	
学 業 不 振	66	8.5%	-11.0%	16	8.9%	6.3%	0	0.0%	0.0%	82	8.4%	-7.2%	
学 業 不 適 応 学 校 生 活	もともと高校生活に熱意がない	173	22.2%	3.5%	39	21.8%	-5.3%	0	0.0%	-8.1%	212	21.8%	1.7%
	授業に興味がない	64	8.2%	2.9%	10	5.6%	1.4%	0	0.0%	-2.7%	74	7.6%	2.6%
	人間関係がうまく保てない	89	11.4%	1.0%	17	9.5%	0.3%	0	0.0%	0.0%	106	10.9%	1.0%
	学校の雰囲気が合わない	63	8.1%	3.4%	3	1.7%	-1.4%	0	0.0%	0.0%	66	6.8%	2.5%
	その他	34	4.4%	0.3%	7	3.9%	2.8%	11	73.3%	19.3%	52	5.3%	0.5%
進 路 変 更	別の高校への入学を希望	119	15.3%	1.4%	6	3.4%	-3.5%	4	26.7%	26.7%	129	13.3%	1.2%
	専修・各種学校への入学を希望	4	0.5%	-1.9%	3	1.7%	1.3%	0	0.0%	-2.7%	7	0.7%	-1.3%
	就職を希望	37	4.8%	-1.1%	29	16.2%	2.5%	0	0.0%	-5.4%	66	6.8%	-0.6%
	高卒程度認定試験受験を希望	17	2.2%	0.7%	5	2.8%	2.0%	0	0.0%	0.0%	22	2.3%	0.9%
	その他	15	1.9%	0.2%	7	3.9%	-1.1%	0	0.0%	-27.0%	22	2.3%	-0.8%
病 気 け が 死 亡	19	2.4%	-3.0%	11	6.1%	4.2%	0	0.0%	0.0%	30	3.1%	-1.5%	
経 済 的 理 由	2	0.3%	0.1%	4	2.2%	-1.6%	0	0.0%	0.0%	6	0.6%	-0.3%	
家 庭 の 事 情	22	2.8%	-0.3%	9	5.0%	-6.4%	0	0.0%	0.0%	31	3.2%	-1.5%	
問 題 行 動 等	53	6.8%	4.4%	8	4.5%	2.9%	0	0.0%	0.0%	61	6.3%	4.1%	
そ の 他 の 理 由	1	0.1%	-0.6%	5	2.8%	-4.5%	0	0.0%	0.0%	6	0.6%	-1.4%	
合計	778	100%		179	100%		15	100%		972	100%		

(注1) 上記の割合は(%)は中途退学者数に対する割合を示している。

(中途退学者数: 全日制 778人、定時制 179人、通信制 15人)

(注2) 資料中の割合の欄は四捨五入で処理した数値のため、合計と合わない場合がある。